

## 熊本障がい者スポーツ指導者協議会・創立20周年記念式典及び祝賀会

平成6年4月24日に、身体障害者スポーツ指導者がその技術向上と親睦及び相互の連絡等を図ることにより、身体障害者等のスポーツの振興に寄与することを目的として誕生いたしました『熊本県身体障害者スポーツ指導者協議会』は、時代や社会背景に合わせて組織の改編や活動内容の変更をしながら、このたび『熊本障がい者スポーツ指導者協議会』として創立20周年を迎えることができました。これもひとえにこれまで当協議会をさまざまな形でお支えいただきました多くの皆さまのおかげであると大変感謝いたしております。



その創立20周年を記念する式典及び祝賀会を平成28年1月30日(土)にメルパルク熊本で開催いたしました。



14:00から開催いたしました式典では、蒲島郁夫熊本県知事様、植松浩二熊本市副市長様をはじめ、

多くの熊本県内外の障がい者スポーツ指導者団体様にご来賓としてご出席をいただきました。オープニングセレモニーとしてこれまでの足跡を振り返るスライドショーにはじまり、前会長である園田



繁昭氏に功労者表彰をさせていただきました。その後、陸上競技走り幅跳びにて、2004年アテネ・2008年北京・2012年ロンドンと3大会連続でパラリンピックに出場されており、2020年東京オリンピック・パラリンピック招致委員・プレゼンターをお務めになられた佐藤真海さんをお招きして、『Power of sports』と題して特別講演を行いました。マスコミでの告知で参加を一般にも呼びかけたこともあり、約220名の方々にお越しいただき、佐藤さんからは障がい者スポーツとの出会いや想いを1時間20分にわたってお話しをいただきました。早稲田大学



チアリーディングで活躍中に突然襲った骨肉腫の発症、右足膝下の切断、障がいを持ったことに対する葛藤と苦悩、そして障がい者スポーツ・パラリンピックとの出会い、『神様は乗り越えられない試練は与えない』『辛い時こそ笑顔で』『私にとって大切なのは、私が失ったものではなく、私が持っているものだ』、言葉





の一つ一つに力強さを感じ、今後トライアスロンに新たにチャレンジをするという精神力に感動と勇気をいただきました。

16:00からの祝賀会では、たくさんの来賓の方にも引き続きご出席をいただき、約60名の方々に改めてこれまでの20年を振り返り、お互いの労を労い、さらなる飛躍を誓い合いました。

これからも熊本障がい者スポーツ指導者協議会は、障がい者のスポーツの振興の力となれますようにさらなる発展に力を尽くしてまいります。今回の式典及び祝賀会にご参加いただいた皆さま本当にありがとうございました。また今後益々のご指導ご鞭撻ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



文責：内島宏樹

(知的障がい者スポーツ競技委員会・委員長)